

学校だより

第12号



平成28年3月15日発行

「たんぽぽ」の歌

校長 鈴木 久之^{ひさの}

本日、第43回卒業証書授与式を、多くの来賓の皆様にご臨席
いただくとともに、保護者の皆様の御列席をいただき、無事終了
することができました。

今年は、小学部4名、中学部17名、高等部23名、計44名
の卒業生が、多くの成長とともにそれぞれ新たな一歩を踏み出し
ます。

毎年、卒業式が近づいてくると「たんぽぽ」の歌が、教室から聞こえてきます。



♪ 雪の下の ふるさとの夜 冷たい風と 土の中で
青い空を 夢に見ながら 野原に咲いた 花だから ♪
どんな花より たんぽぽの 花を あなたに 贈りましょう
どんな花より たんぽぽの 花を あなたに 贈りましょう

そんな「たんぽぽ」の花のひたむきさとけなげさ、そして大切な人に感謝の気持ちを贈ろ
うとする「たんぽぽ」の歌が私は大好きです。

東金特別支援学校で出会ったかけがえのない子どもたちとの1年も、あっという間に過ぎ
ようとしています。先日、あるお父さんから「子どもが、毎日、学校に行くのを本当に楽し
みにしている。この学校に預けてよかった…」とのお話をいただきました。

私たち教職員は、子どもたちが学校から帰る時に、「今日は楽しかった。また、明日も学校
に来たい。」と思えるような学校づくりを目指しています。これまでの保護者や地域の方の学
校への御協力に感謝すると共に、これからも、御意見等をいただきながら、子どもたちの自
立の力が伸びるような教育の充実に努めていきたいと思えます。

最後に、卒業生の皆さんの御活躍と御多幸をお祈りいたします。

学校改善に向けた取り組み 第3回「開かれた学校づくり委員会」より

「開かれた学校づくり委員会」とは、子ども達のために保護者や地域住民の意見やニーズを
学校運営に反映させるための委員会です。先日の委員会での御意見をいくつか紹介します。

- ・ 学校が子ども達のために頑張っている様子が、保護者や地域に十分に伝わっていないの
ではないか。学校からの情報発信を工夫し、学校と保護者の双方向による情報の共有を
目指してほしい。
- ・ 職員の中には、障害特性を理解せずに、子ども達に対して不用意な言葉をかけることが
見受けられる。ベテランの職員ほど、慎重な言葉で対応することを心がけてほしい。
- ・ 学校と保護者が協力していくことが、子ども達の健全育成につながる。個々の保護者の
意見に先生方が萎縮してしまうことのないよう体制づくりに努めて欲しい。